



日布時事社  
調査部保名

◎美術の秋を控へて

酷熱のアトリエにて（其一）

立秋の聲がかかれば直ちに美術の秋を連想する。作家は今日此の頃それそれ酷熱のアトリエにとちこもつて已が作を忙いでゐる、例年の通り寫眞撮影材料の夏溜れ時を利用して著

作家のアトリエ廻りを初めまず  
寫眞は

藤井祐浩氏アトリエにて本年の力作

「浴後」又は「浴女」の作製に寧日

なき同氏

AUG 12 1931

AUG 12 1931

JA-P371.001